

令和8年度 学校自己評価重点目標シート（川口市立高等学校 定時制）

（A4判横）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	名
事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価（令和 年 月 日 現在）		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
組織運営	○募集停止に伴う教員数の減少から、教職員の校務負担増が想定される。また、各教員への負担の増加から、教育の質の低下が懸念される。	「教員数の減少を踏まえ、効率的な学校運営の組織及び方法を検討し積極的に推進する。」 ①定時制の今後のあり方について、定時制全教職員での情報共有を密に図り、丁寧に検討していくことで解決を図る。 ②ICT機器の活用を踏まえ、効率的かつ効果的な組織運営を行うとともに働き方改革を継続し、教育の質を向上させ	①定時制の今後の在り方について、課題を整理し、県教委および市教委と連携を密に図ることで解決していく。 ②行事等を精選しつつ、定時制としての新たな取組みを図っていくことで、教育の質を向上させる。			
教育課程	○募集停止に伴う在籍生徒数の減少により、生徒間における活性化が危ぶまれ、教育の質の低下が懸念される。 ○生徒の目標が「高校卒業」だけでなく「将来を見据えた進路実現」に大きく変わってきていることを踏まえ、学校の現状を踏まえたカリキュラムが必要である。	「生徒数の減少を踏まえた上で、円滑な教育課程の実施に努める。」 ③教育内容の保障について、県教委及び市教委に働きかけ、定時制課程としての教育活動の維持、充実に努めていく。 ④生徒が主役となる取組を積極的に推進していくことで、何事にもあきらめずチャレンジし続ける生徒を育成していく。	③生徒数の減少により、生徒が不利益を被らないよう関係各所に働きかけ、教育活動の維持、充実に努める。 ④4年間を見通した系統的なキャリア教育を実施し、生徒の自己理解の深化、進路意識の醸成を図る。 ④ICT等を活用した学びや体験活動、学び直し、日本語指導など、生徒一人一人に沿った指導の充実策を推進していく。			
開かれた学校づくり	○夜間定時制のため、積極的な外部連携を図っていくことは難しい。 ○定時制生徒の半数以上が長期欠席経験者や日本語を母語としない生徒である。 ○定時制の魅力ある学びの発信をより一層充実させることが求められている。	「積極的に広報するとともに外部組織や地域とWin-Winな関係づくりを構築する」 ⑤外部組織との連携を一層強化し、生徒の将来を見据えた様々な学びを推し進める。 ⑥様々な媒体、機会を活用し定時制の魅力を発信する。	⑤全日制や附属中、外部組織や地域との連携を積極的に行う。 ⑤近隣他校と情報共有しながら、多文化共生や日本語指導等を推し進める。 ⑥HPやSNSを活用し定時制の魅力を発信していく。			
教職員の資質向上	○組織的かつ計画的な校内研修を実施していく必要がある。 ○定時制の教員数が少ないことから、研修参加が難しい面がある。 ○ICT活用の流れを後戻りさせないという意識の下、教育活動を充実させる必要がある。	「教職員の資質向上を推進させる」 ⑦校内研修を計画的に行い、教職員の指導力向上を図る。 ⑧校外研修への教職員の積極的な参加を促していく。	⑦保護者も含めた公開授業、研究授業を実施する。 ⑦ICT等を効果的に活用できる研修を実施する。 ⑧教育センターや外部機関が主催する研修への積極的な参加を促す。			
施設・設備等の管理	○全日制、附属中との情報共有を密に図っていくことで、緊密な連携体制を構築し、生徒や保護者等に対して、安心安全な学校生活を保障する必要がある。	「校内設備の効果的な活用と安心安全な学校生活の保障する」 ⑨定時制特有の課題に対して安心・安全を確保する。 ⑩施設・設備を最大限に活かした教育活動を展開する。	⑨⑩道路交通法の改正を踏まえた自転車点検や登校指導を行うとともに、不審者等の防犯対策など安全確保と安全点検を行う。 ⑨⑩生徒が様々な犯罪に巻き込まれないよう様々な機会を活用し、生徒の意識の高揚を図る。			

学 校 関 係 者 評 価
※実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等